

【下水道課所管 再評価審議資料】 (県事業及び市町事業)

○再評価対象箇所一覧表	・・・ p 1～2
再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について	・・・ p 3～4
○平成30年度 再評価実施箇所	
再評価実施箇所（附図）	
7) 木曾川右岸流域下水道事業 木曾川右岸処理区（岐阜県）	・・・ p 5
8) 流域関連公共下水道事業 木曾川右岸処理区	
・岐阜市流域関連公共下水道事業	・・・ p 6
・美濃加茂市流域関連公共下水道事業	・・・ p 7
・各務原市流域関連公共下水道事業	・・・ p 8
・可児市流域関連公共下水道事業	・・・ p 9
・岐南町流域関連公共下水道事業	・・・ p 10
・笠松町流域関連公共下水道事業	・・・ p 11
・坂祝町流域関連公共下水道事業	・・・ p 12
・川辺町流域関連公共下水道事業	・・・ p 13
・八百津町流域関連公共下水道事業	・・・ p 14
・御嵩町流域関連公共下水道事業	・・・ p 15
木曾川右岸流域下水道事業および流域関連公共下水道事業に ついて	・・・ p 16～22

平成30年度 再評価対象箇所一覧表 11月2日審議箇所

[下水道事業：都市建築部下水道課]

番号	事業名	路線・河川名	市町村名	採択年度	完了予定年度	事業概要		全体事業費 (百万円)		実施済み額 (百万円)		進捗率 (%)		経過年数 (H30.3現在)	政策との位置付け	関連事業の進捗状況	社会経済情勢等の変化及び地域の意向	環境との調和への配慮事項	事業費削減	費用対効果分析	対応方針 (案)	特記事項
						全体面積 (ha)	実施済事業量 (ha)	事業実施率 (%)	用地補償費	工事費等	用地補償費	工事費等	用地補償費									
7	流域下水道事業	木曾川右岸処理区	岐阜県	S51	H37	16,773	11,716	69.8%	153,668 4,716 148,952	142,799 4,716 138,083	92.9% 100.0% 92.7%	41	木曾川及び良川流域別下水道整備総合計画	市町の事業進捗により流入量は順調に増加している。	市町及び地域住民の理解及び協力が得られている。	高度処理の実施により伊勢湾の水質改善に寄与している。	機構設備について省エネルギーの取組により事業費を約141百万円削減した。	費用対効果分析 2.5 (2.4)	継続	H25再評価		
8	流域間連公共下水道事業	木曾川右岸処理区	岐阜市	S58	H37	2,860	2,201	77.0%	54,207 0 54,207	51,242 0 51,242	94.5% - 94.5%	35	同上	同上	同上	同上	同上	費用対効果分析 2.7 (2.6)	継続	H25再評価		
8	流域間連公共下水道事業	木曾川右岸処理区	美濃加茂市	S61	H37	1,555	1,265	81.3%	30,312 0 30,312	29,913 0 29,913	98.7% - 98.7%	32	同上	同上	同上	同上	同上	費用対効果分析 3.0 (2.6)	継続	H25再評価		
8	流域間連公共下水道事業	木曾川右岸処理区	各務原市	S57	H37	5,150	2,509	48.7%	63,959 0 63,959	39,653 0 39,653	62.0% - 62.0%	36	同上	同上	同上	同上	同上	費用対効果分析 2.4 (2.3)	継続	H25再評価		
8	流域間連公共下水道事業	木曾川右岸処理区	可児市	S63	H37	3,244	2,755	84.9%	60,722 0 60,722	54,928 0 54,928	90.5% - 90.5%	30	同上	同上	同上	同上	同上	費用対効果分析 2.3 (2.1)	継続	H25再評価		
8	流域間連公共下水道事業	木曾川右岸処理区	岐南町	S58	H37	759	685	90.3%	12,564 0 12,564	11,223 0 11,223	89.3% - 89.3%	35	同上	同上	同上	同上	同上	費用対効果分析 3.2 (3.1)	継続	H25再評価		
8	流域間連公共下水道事業	木曾川右岸処理区	笠松町	S63	H37	683	508	74.4%	16,752 0 16,752	13,736 0 13,736	82.0% - 82.0%	30	同上	同上	同上	同上	同上	費用対効果分析 1.9 (2.2)	継続	H25再評価		
8	流域間連公共下水道事業	木曾川右岸処理区	坂祝町	S63	H37	440	255	58.0%	3,737 0 3,737	2,874 0 2,874	76.9% - 76.9%	30	同上	同上	同上	同上	同上	費用対効果分析 3.4 (3.3)	継続	H25再評価		
8	流域間連公共下水道事業	木曾川右岸処理区	川辺町	H3	H37	689	609	88.3%	9,268 0 9,268	9,067 0 9,067	97.8% - 97.8%	27	同上	同上	同上	同上	同上	費用対効果分析 2.9 (2.7)	継続	H25再評価		

費用対効果分析:()は前回再評価時の投資効果率

平成30年度 再評価対象箇所一覧表 11月 2日 審議箇所

[下水道事業:都市建築部下水道課]

番号	事業名	路線・河川名	市町村名	採択年度	完了予定年度	事業概要			全体事業費 (百万円)			実施済み額 (百万円)			進捗率 (%)	経過年数	政策との位置付け	関連事業の進捗状況	社会経済情勢等の変化及び地域の意向	環境との調和への配慮事項	事業費縮減	費用対効果分析	対応方針 (案)	特記事項
						全体面積 (ha)	実施済事業量 (ha)	事業実施率 (%)	用地補償費	工事費等	用地補償費	工事費等	用地補償費	工事費等										
8	流域関連公 共下水道事 業	木曾川右岸 処理区	八百津町	H3	H37	460	387	84.1%	7,870	0	7,870	7,869	0	7,869	100.0%	27	同上	同上	同上	同上	同上	費用 便益比 2.1 (2.1)	継続	H25 再評価
8	流域関連公 共下水道事 業	木曾川右岸 処理区	御嵩町	H2	H37	935	544	58.2%	13,394	0	13,394	11,235	0	11,235	83.9%	28	同上	同上	同上	同上	同上	費用 便益比 2.4 (2.0)	継続	H25 再評価

費用対効果分析:()は前回再評価時の投資効果率

平成30年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 下水道課

○事業制度について	事業名	木曾川右岸流域下水道事業	
	事業目的	・都市の健全な発達及び生活環境の改善（便所の水洗化、悪臭の排除等の環境整備）に寄与し、あわせて公共用水域（伊勢湾等）の水質保全に資する。	
	採択基準	・公共下水道：対象区域→主に市街地、規模→制限なし ・流域下水道：2つ以上の市町村の区域における下水を排除するもの	
	概要 (メニュー)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主体 市町村：公共下水道事業 岐阜県：流域下水道事業 ・対象処理水：汚水（生活雑排水、し尿、工場・事業場排水等） ・整備内容：管渠及び処理場の築造 	
○費用対効果の分析について *費用便益B/C*	効果の項目	うち貨幣換算する項目 ≧B ≦	<ul style="list-style-type: none"> (1)生活環境の改善効果 <ul style="list-style-type: none"> ○周辺環境の改善（＝下水道整備による悪水路の解消） <ul style="list-style-type: none"> ・中小水路の覆蓋化、清掃費用 ○居住環境の改善（＝トイレの水洗化） <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽の設置、維持管理費用 (2)公共用水域の水質保全効果 <ul style="list-style-type: none"> ○公共用水域の存在価値等のうち下水道の整備によって保全回復される価値
		その他項目	
	費用 ≧C ≦ の算定	<ul style="list-style-type: none"> ・処理場、ポンプ場、管渠等に係る建設費＋用地費＋改築費＋維持管理費 ・単価の基準：評価を実施する年度 ・評価対象期間：事業完了後から50年 ・現在価値化に用いる割引率：4% 	
費用便益比の基準	<ul style="list-style-type: none"> ・費用便益比(B/C) 1.0以上 		

平成30年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 下水道課

○事業制度について	事業名	流域関連公共下水道事業	
	事業目的	・都市の健全な発達及び生活環境の改善（便所の水洗化、悪臭の排除等の環境整備）に寄与し、あわせて公共用水域（伊勢湾等）の水質保全に資する。	
	採択基準	・公共下水道：対象区域→主に市街地、規模→制限なし ・流域下水道：2つ以上の市町村の区域における下水を排除するもの	
	概要 (メニュー)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主体 市町村：公共下水道事業 岐阜県：流域下水道事業 ・対象処理水：汚水（生活雑排水、し尿、工場・事業場排水等） ・整備内容：管渠及び処理場の築造 	
○費用対効果の分析について *費用便益B/C*	効果の項目	うち貨幣換算する項目 ≧B ≦	<ul style="list-style-type: none"> (1)生活環境の改善効果 <ul style="list-style-type: none"> ○周辺環境の改善（＝下水道整備による悪水路の解消） <ul style="list-style-type: none"> ・中小水路の覆蓋化、清掃費用 ○居住環境の改善（＝トイレの水洗化） <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽の設置、維持管理費用 (2)公共用水域の水質保全効果 <ul style="list-style-type: none"> ○公共用水域の存在価値等のうち下水道の整備によって保全回復される価値
		その他項目	
	費用 ≧C ≦ の算定	<ul style="list-style-type: none"> ・処理場、ポンプ場、管渠等に係る建設費＋用地費＋改築費＋維持管理費 ・単価の基準：評価を実施する年度 ・評価対象期間：事業完了後から50年 ・現在価値化に用いる割引率：4% 	
費用便益比の基準	<ul style="list-style-type: none"> ・費用便益比(B/C) 1.0以上 		

平成30年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔都市建築部下水道課〕

番号	7	事業名 (路線・河川名等)	木曾川右岸流域下水道事業 (木曾川右岸処理区)	
事業実施箇所	岐阜市、美濃加茂市、各務原市、可児市、岐南町、笠松町、坂祝町、川辺町、八百津町、御嵩町の4市6町		事業主体	岐阜県
採択年度	昭和51年度	完了予定年度	平成37年度	
再評価の実施基準	再評価を実施した後5年間が経過した時点で継続中の事業			
事業目的	生活環境の改善、公共用水域の水質保全			
事業概要	計画面積	16,773ha	処理施設	
	目標年次	平成37年	名称：岐阜県各務原浄化センター	
	排除方式	分流式	処理方式：標準活性汚泥法+急速ろ過法 嫌気・無酸素・好気法+急速ろ過法 ステップ流入式多段硝化脱窒法+急速ろ過法	
	計画人口	466,220人	放流水質：BOD 10.2mg/L , T-N 10.2mg/L, T-P 1.5mg/L	
	計画汚水量(日最大)	241,815m ³ /日		
概要図	<p>木曾川右岸流域下水道事業概要図</p>			
	<p>岐阜県各務原浄化センター</p>			

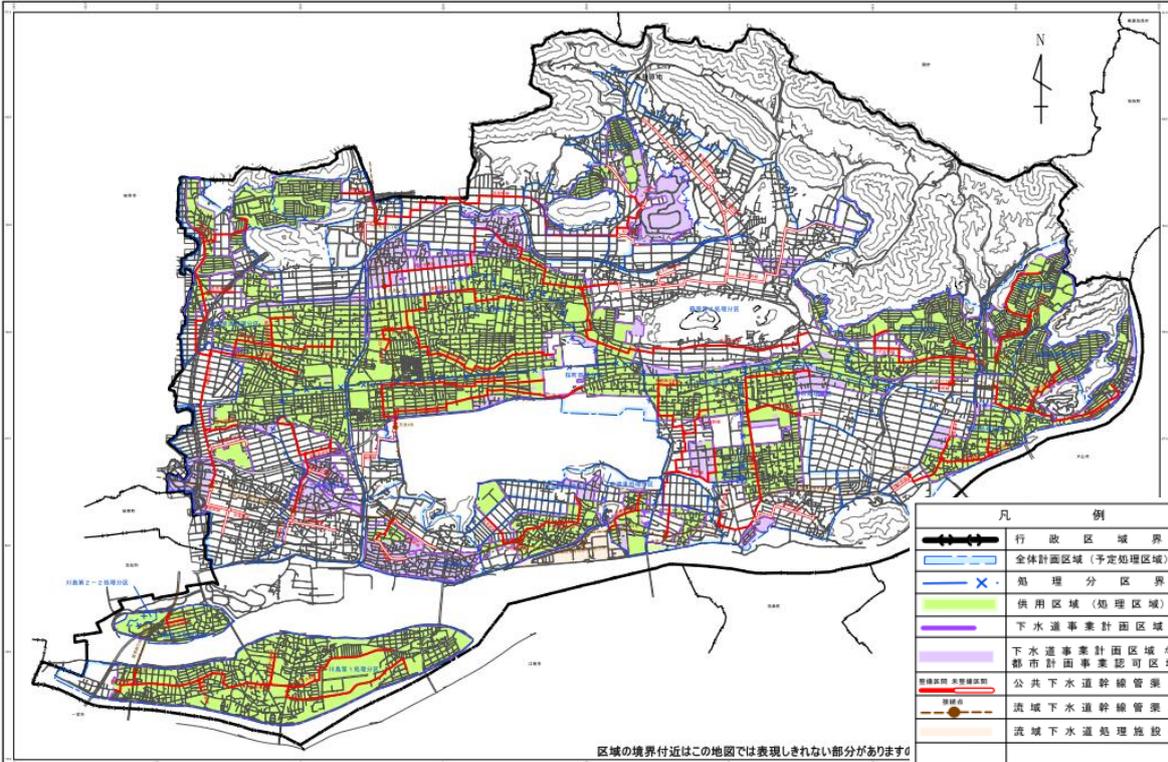
平成30年度 再評価実施箇所（附図）

番 号	8	事 業 名 (路線・河川名等)	岐阜市流域関連公共下水道事業 (木曾川右岸処理区)																		
事業実施箇所	岐阜市(東部、芥見、日置江、柳津、北東部地域)	事業主体	岐阜市																		
採択年度	昭和58年度	完了予定年度	平成37年度																		
再評価の実施基準	木曾川右岸流域下水道事業の再評価に伴い一体的に実施。																				
事業目的	生活環境の保全及び公共用水域の水質保全																				
事業概要	<p>計画面積：2,860ha 処理施設：岐阜県各務原浄化センター</p> <p>目標年次：平成37年度</p> <p>排除方式：分流式</p> <p>計画人口：105,200人</p> <p>計画汚水量(日最大)：54,578m³/日</p>																				
概要図	<div style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">岐阜市流域関連公共下水道事業 木曾川右岸処理区</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">凡 例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 30px; height: 15px; border: 1px solid red;"></td> <td style="font-size: 8px;">全体計画区域</td> <td style="width: 30px; height: 15px; border-bottom: 1px dashed black;"></td> <td style="font-size: 8px;">污水幹線</td> </tr> <tr> <td style="width: 30px; height: 15px; border: 1px dashed red;"></td> <td style="font-size: 8px;">事業計画区域</td> <td style="width: 30px; height: 15px; border-bottom: 1px dashed orange;"></td> <td style="font-size: 8px;">流域幹線</td> </tr> <tr> <td style="width: 30px; height: 15px; background-color: #cccccc;"></td> <td style="font-size: 8px;">既整備区域(H29末)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>					凡 例					全体計画区域		污水幹線		事業計画区域		流域幹線		既整備区域(H29末)		
凡 例																					
	全体計画区域		污水幹線																		
	事業計画区域		流域幹線																		
	既整備区域(H29末)																				

平成30年度 再評価実施箇所（附図）

番 号	8	事 業 名 (路線・河川名等)	美濃加茂市流域関連公共下水道事業 (木曾川右岸処理区)	
事業実施箇所	美濃加茂市（太田、古井、山之上、蜂屋、加茂野、下米田地区）	事業主体	美濃加茂市	
採択年度	昭和61年度	完了予定年度	平成37年度	
再評価の実施基準	木曾川右岸流域下水道事業の再評価に伴い一体的に実施。			
事業目的	生活環境の改善及び公共用水域の水質保全			
事業概要	<p>計画面積：1,555ha 処理施設：岐阜県各務原浄化センター</p> <p>目標年次：平成37年度</p> <p>排除方式：分流式</p> <p>計画人口：38,900人</p> <p>計画汚水量(日最大)：18,556m³/日</p>			
概要図	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> 全体計画区域</p> <p> 認可計画区域 既整備区域 (流域関連公共下水道)</p> <p> 既整備区域 (単独公共下水道)</p> <p> 既整備区域 (農業集落排水)</p> <p> 既設流域下水道幹線管渠</p> <p> 既設污水幹線管渠</p> </div>			

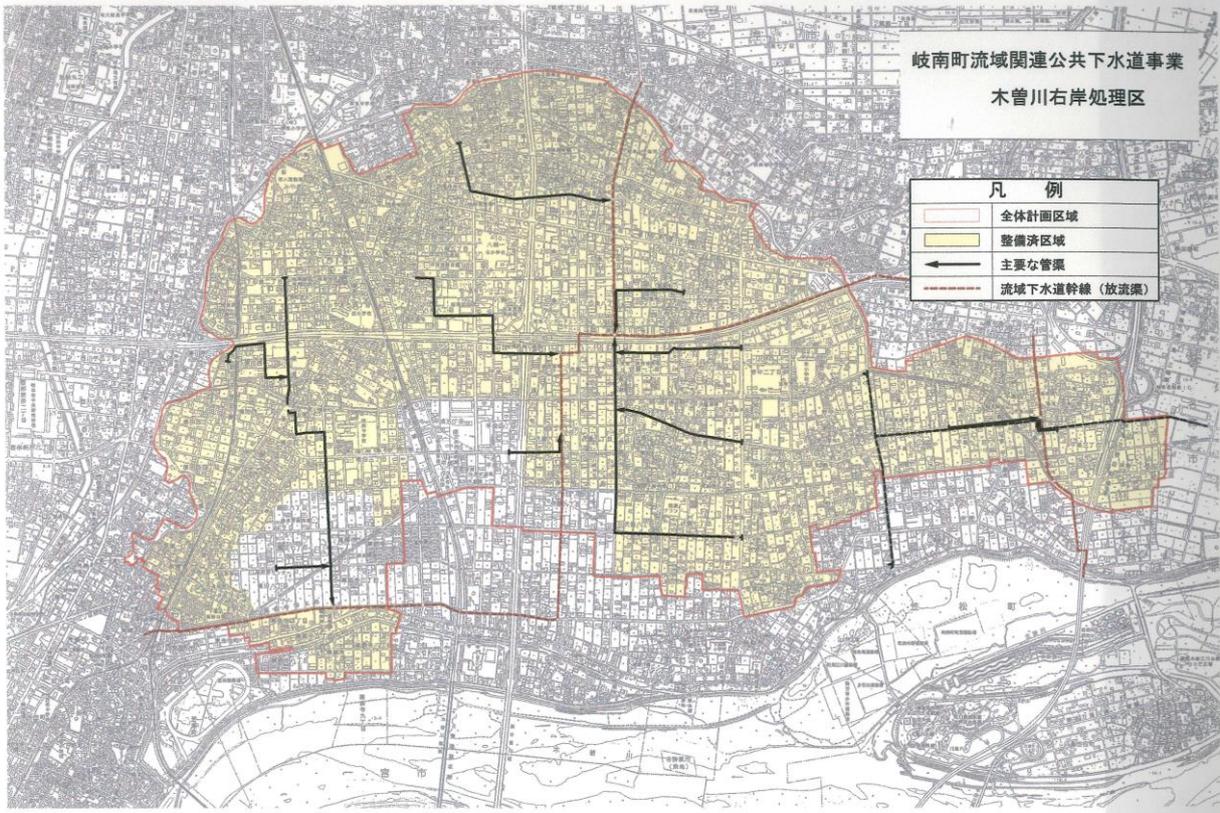
平成30年度 再評価実施箇所（附図）

番 号	8	事 業 名 (路線・河川名等)	各務原市流域関連公共下水道事業 (木曾川右岸処理区)	
事業実施箇所	各務原市	事業主体	各務原市	
採択年度	昭和57年度	完了予定年度	平成37年度	
再評価の実施基準	木曾川右岸流域下水道事業の再評価に伴い一体的に実施。			
事業目的	生活環境の改善及び公共用水域の水質保全			
事業概要	計画面積：5,150ha 処理施設：岐阜県各務原浄化センター 目標年次：平成37年度 排除方式：分流式 計画人口：142,400人 計画汚水量(日最大)：75,248m ³ /日			
概要図	各務原市流域関連公共下水道事業 木曾川右岸処理区			
各務原市公共下水道台帳一般図（污水） 縮尺 1：40,000				
				

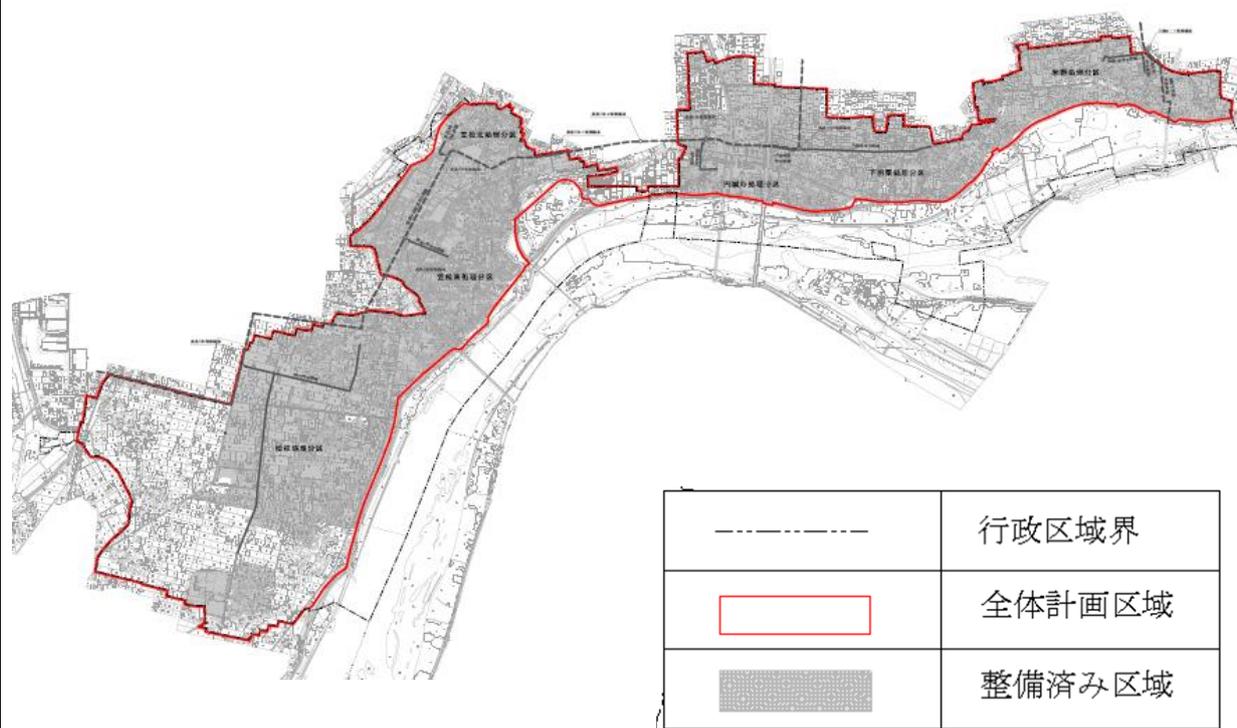
平成30年度 再評価実施箇所 (附図)

番号	8	事業名 (路線・河川名等)	可児市流域関連公共下水道事業 (木曾川右岸処理区)																
事業実施箇所	可児市	事業主体	可児市																
採択年度	昭和63年度	完了予定年度	平成37年度																
再評価の実施基準	木曾川右岸流域下水道事業の再評価に伴い一体的に実施。																		
事業目的	生活環境の改善及び公共用水域の水質保全																		
事業概要	<p>計画面積：3,244ha 目標年次：平成37年度 排除方式：分流式 計画人口：93,700人 計画汚水量(日最大)：47,269m³/日</p> <p>処理施設：岐阜県各務原浄化センター</p>																		
概要図	<p>可児市流域関連公共下水道事業計画一般図(汚水) S=1/20,000</p> <p>予定処理区域面積 約2,828ヘクタール 主要な管渠の延長 63,550 主要な管渠の延長 約68,030メートル</p> <p>図例</p> <table border="1"> <tr> <td>行進線</td> <td>境界線</td> </tr> <tr> <td>予定処理区域境界</td> <td>主要な管渠(変更なし)</td> </tr> <tr> <td>本設計管渠区境界</td> <td>主要な管渠(4-10年度)</td> </tr> <tr> <td>区境界</td> <td></td> </tr> <tr> <td>調整池位置変更箇所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>河川</td> <td></td> </tr> <tr> <td>河川下水処理場</td> <td></td> </tr> <tr> <td>調整池</td> <td></td> </tr> </table> <p>可児市流域関連公共下水道事業計画(汚水) 図名 下水道計画一般図 図号 1000.11 縮尺 1/20,000 図例 1/1 可児市下水道部下水道課 図例 1/1</p>			行進線	境界線	予定処理区域境界	主要な管渠(変更なし)	本設計管渠区境界	主要な管渠(4-10年度)	区境界		調整池位置変更箇所		河川		河川下水処理場		調整池	
行進線	境界線																		
予定処理区域境界	主要な管渠(変更なし)																		
本設計管渠区境界	主要な管渠(4-10年度)																		
区境界																			
調整池位置変更箇所																			
河川																			
河川下水処理場																			
調整池																			

平成30年度 再評価実施箇所（附図）

番 号	8	事 業 名 (路線・河川名等)	岐南町流域関連公共下水道事業 (木曾川右岸処理区)	
事業実施箇所	岐南町	事業主体	岐南町	
採択年度	昭和58年度	完了予定年度	平成37年度	
再評価の実施基準	木曾川右岸流域下水道事業の再評価に伴い一体的に実施。			
事業目的	生活環境の改善及び公共用水域の水質保全			
事業概要	<p>計画面積：759ha 処理施設：岐阜県各務原浄化センター</p> <p>目標年次：平成37年度</p> <p>排除方式：分流式</p> <p>計画人口：24,400人</p> <p>計画汚水量(日最大)：12,654m³/日</p>			
概要図				

平成30年度 再評価実施箇所（附図）

番 号	8	事 業 名 (路線・河川名等)	笠松町流域関連公共下水道事業 (木曾川右岸処理区)		
事業実施箇所	笠松町		事業主体	笠松町	
採択年度	昭和63年度	完了予定年度	平成37年度		
再評価の実施基準	木曾川右岸流域下水道事業の再評価に伴い一体的に実施。				
事業目的	生活環境の改善及び公共用水域の水質保全				
事業概要	<p>計画面積：683ha 処理施設：岐阜県各務原浄化センター</p> <p>目標年次：平成37年度</p> <p>排除方式：分流式</p> <p>計画人口：21,400人</p> <p>計画汚水量(日最大)：12,260m³/日</p>				
概要図	<p>笠松町流域関連公共下水道事業 木曾川右岸処理区</p> 				

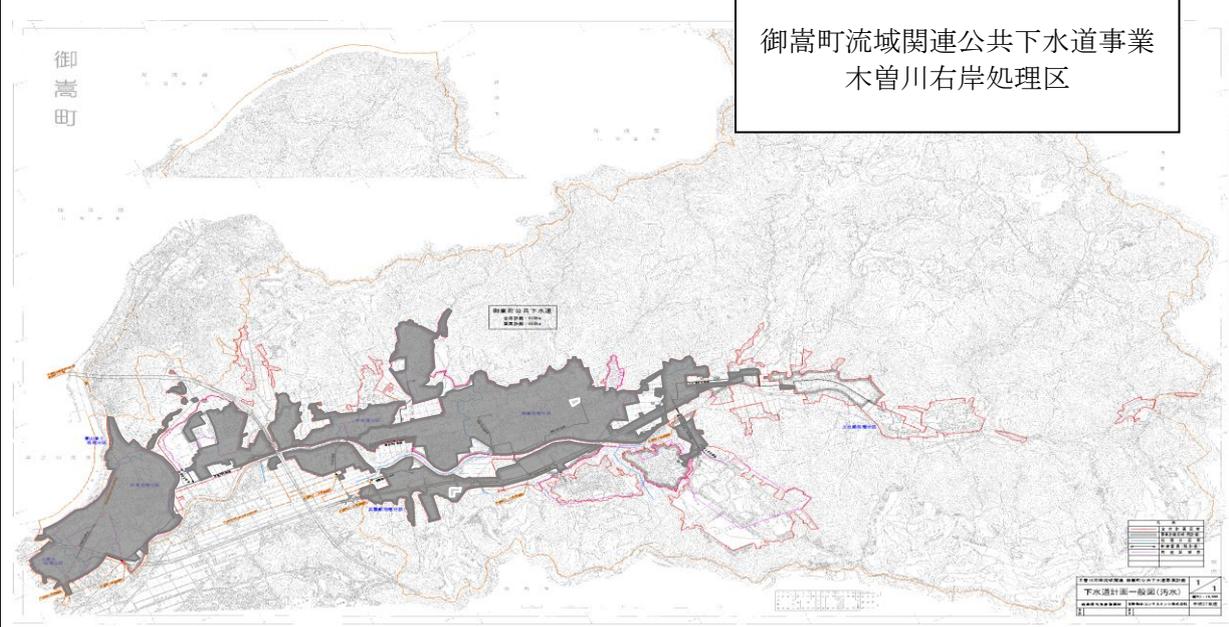
平成30年度 再評価実施箇所（附図）

番 号	8	事 業 名 (路線・河川名等)	川辺町流域関連公共下水道事業 (木曾川右岸処理区)	
事業実施箇所	川辺町	事業主体	川辺町	
採択年度	平成3年度	完了予定年度	平成37年度	
再評価の実施基準	木曾川右岸流域下水道事業の再評価に伴い一体的に実施。			
事業目的	生活環境の改善及び公共用水域の水質保全			
事業概要	<p>計画面積：689ha 処理施設：岐阜県各務原浄化センター</p> <p>目標年次：平成37年度</p> <p>排除方式：分流式</p> <p>計画人口：9,700人</p> <p>計画汚水量(日最大)：5,301m³/日</p>			
概要図	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 川辺町流域関連公共下水道事業 木曾川右岸処理区 </div>			

平成30年度 再評価実施箇所（附図）

番 号	8	事 業 名 (路線・河川名等)	八百津町流域関連公共下水道事業 (木曾川右岸処理区)		
事業実施箇所	八百津町	事業主体	八百津町		
採択年度	平成3年度	完了予定年度	平成37年度		
再評価の実施基準	木曾川右岸流域下水道事業の再評価に伴い一体的に実施。				
事業目的	生活環境の改善及び公共用水域の水質保全				
事業概要	<p>計画面積：460ha 処理施設：岐阜県各務原浄化センター</p> <p>目標年次：平成37年度</p> <p>排除方式：分流式</p> <p>計画人口：7,500人</p> <p>計画汚水量(日最大)：4,210m³/日</p>				
概要図	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 八百津町流域関連公共下水道事業 木曾川右岸処理区 </div>				

平成30年度 再評価実施箇所（附図）

番 号	8	事 業 名 (路線・河川名等)	御嵩町流域関連公共下水道事業 (木曾川右岸処理区)	
事業実施箇所	御嵩町	事業主体	御嵩町	
採択年度	平成2年度	完了予定年度	平成37年度	
再評価の実施基準	木曾川右岸流域下水道事業の再評価に伴い一体的に実施。			
事業目的	生活環境の改善及び公共用水域の水質保全			
事業概要	<p>計画面積：935ha 処理施設：岐阜県各務原浄化センター</p> <p>目標年次：平成37年度</p> <p>排除方式：分流式</p> <p>計画人口：16,800人</p> <p>計画汚水量(日最大)：8,085m³/日</p>			
概要図	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">御嵩町流域関連公共下水道事業 木曾川右岸処理区</div> 			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center;">凡 例</p> <p>全体計画 </p> <p>施工済（～H29） </p> </div>				

平成30年度 事業再評価 木曽川右岸流域下水道事業及び流域関連 公共下水道事業（木曽川右岸処理区）



岐阜県各務原浄化センター

岐阜県都市建築部下水道課

1

下水道事業の政策と位置付け

流域別下水道整備総合計画(流総計画)

- 水質環境基準の類型指定されている水域について、水環境の現状や将来予測を行い、要求される水質基準を達成維持するために必要な下水道の整備計画の水質目標等の水準を定める水域の下水道に関する基本計画。
- 木曽川右岸流域下水道事業としては「木曽川及び長良川流域別下水道整備総合計画」(平成23年2月)が上位計画となり、計画処理人口、水質環境基準、下水処理場毎の窒素・リン削減目標等を定めている。

反映

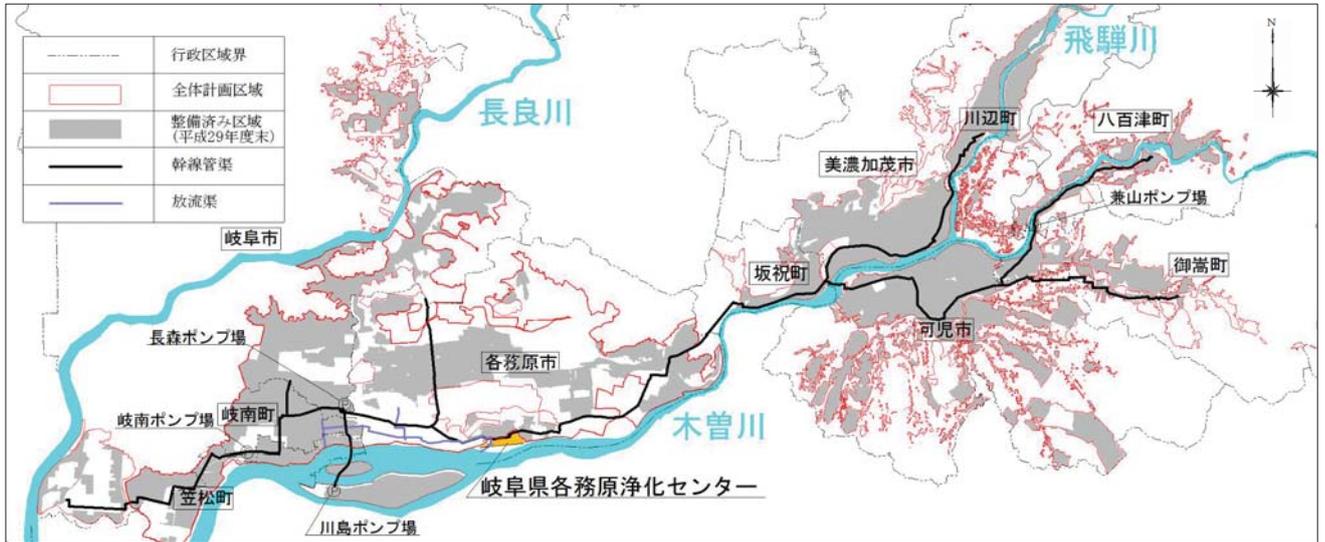
- ← 将来計画人口及び計画汚水量
- ← 下水処理方法
- ← 処理水質を維持するための施設水準等

木曽川右岸流域下水道事業計画

2

位置図（全体計画区域）

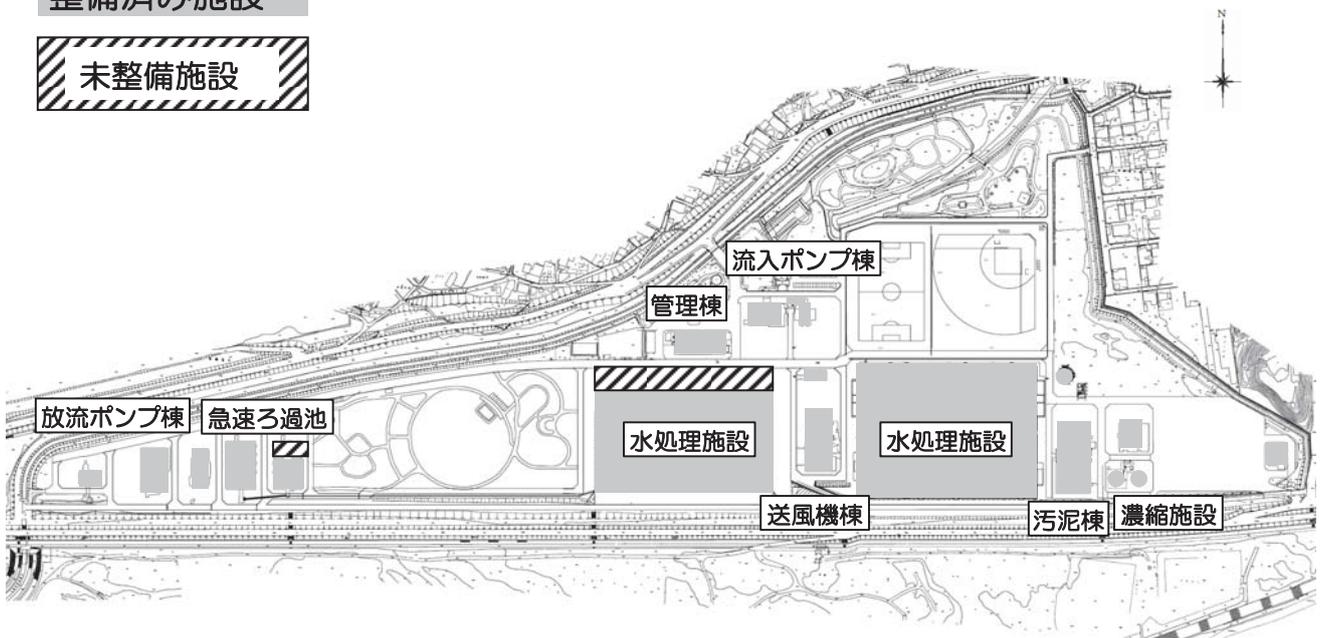
木曾川右岸処理区（4市6町）
 （岐阜市、美濃加茂市、各務原市、可児市、岐南町、笠松町、坂祝町、川辺町、八百津町、御嵩町）
 全体計画処理区域：16,773ha 整備済区域：11,716ha(平成29年度末)



位置図（岐阜県各務原浄化センター全体配置図）

整備済み施設

未整備施設



事業概要（木曽川右岸流域下水道事業）

	前回事業評価時(H25)の計画 (H22策定)	今回事業評価時(H30)の計画 (H27策定)
事業期間	昭和51年度～平成37年度	昭和51年度～平成37年度
整備期間	50年間	50年間
全体処理 区域面積	17,540 ha	16,773 ha
全体計画 処理人口	456,720 人	466,220 人
計画日最大 汚水量	249,500 m ³ /日	241,815 m ³ /日
流域幹線 延長	77.6 km	
処理方式	標準活性汚泥法+急速ろ過法 A2O法+凝集沈殿法+急速ろ過法 及び ステップ法+凝集沈殿法+急速ろ過法	標準活性汚泥法+急速ろ過法 A2O法+凝集沈殿法+急速ろ過法 及び ステップ法+凝集沈殿法+急速ろ過法

注) A2O法：嫌気・無酸素・好気法
ステップ法：ステップ流入式多段硝化脱窒法⁵

事業概要（流域関連公共下水道事業）その1

市町名	岐阜市	美濃加茂市	各務原市	可児市	岐南町	笠松町
事業期間	昭和58年度 ～ 平成37年度	昭和61年度 ～ 平成37年度	昭和57年度 ～ 平成37年度	昭和63年度 ～ 平成37年度	昭和58年度 ～ 平成37年度	昭和63年度 ～ 平成37年度
整備期間	43年間	40年間	44年間	38年間	43年間	38年間
全体処理 区域面積(ha)	2,860	1,555	5,150	3,244	759	683
全体計画 処理人口(人)	105,200	38,900	142,400	93,700	24,400	21,400
計画日最大 汚水量(m ³ /日)	54,578	18,556	75,248	47,269	12,654	12,260

事業概要（流域関連公共下水道事業）その2

市町名	坂祝町	川辺町	八百津町	御嵩町	全域
事業期間	昭和63年度 ～ 平成37年度	平成3年度 ～ 平成37年度	平成3年度 ～ 平成37年度	平成2年度 ～ 平成37年度	-
整備期間	38年間	35年間	35年間	36年間	-
全体処理 区域面積(ha)	440	689	460	935	16,773
全体計画 処理人口(人)	6,200	9,700	7,500	16,800	466,200
計画日最大 汚水量(m ³ /日)	3,654	5,301	4,210	8,085	241,815

7

事業目的

- 本事業は上位計画である「木曾川及び長良川流域別下水道整備総合計画」に基づき、4市6町（岐阜市、美濃加茂市、各務原市、可児市、岐南町、笠松町、坂祝町、川辺町、八百津町、御嵩町）の汚水を広域的に処理するものです。
- 下水道事業を推進することで、関連自治体における住民の生活環境の向上（便所の水洗化、悪臭の排除等の環境整備）の他、公共用水域（木曾川本川及び支川、長良川本川及び支川、伊勢湾等）の水質保全を図ります。

8

費用対効果分析

※H28年：国土交通省水管理・国土保全局下水道部「下水道事業における費用対効果分析マニュアル」に基づき

■費用：流域下水道事業、流域関連公共下水道事業に係る費用

■便益

- 生活環境の改善効果(効果全体の97%)
 周辺環境の改善 (=下水道整備による悪水路の解消)
 居住環境の改善 (=便所の水洗化)
- 公共用水域の環境保全効果(効果全体の3%)

■投資的効果率

前回再評価時(H25)=2.4

$$\text{効果額} / \text{事業費} = 2.5$$

9

事業の進捗状況（流域下水道全体）

平成29年度末

整備状況	面積	全体計画区域	16,773.4 ha	
		整備済区域	11,716.2 ha	
		整備率	69.9 %	
	事業費 (1)	全体事業費 (百万円)	426,452	153,668
				272,784
		実施済事業費 (百万円)	374,539	142,799
				231,740
		進捗率	87.8 %	92.9 %
		85.0 %		

注(1) 事業費欄の上段：流域下水道 下段：流域関連公共下水道

事業の進捗状況

(流域関連公共下水道事業) その1

平成29年度末

市 町 名		岐阜市	美濃加茂市	各務原市	可児市	岐南町	
整 備 状 況	面 積	全体計画 区域(ha)	2,859.6	1,554.8	5,149.7	3,243.7	759.0
		整備済 区域(ha)	2,200.6	1,264.6	2,508.6	2,754.8	685.4
		整備率(%)	77.0	81.3	48.7	84.9	90.3
事 業 費	費	全体事業費 (百万円)	54,207	30,312	63,959	60,722	12,564
		実施済事業 費(百万円)	51,242	29,913	39,653	54,928	11,223
		進捗率(%)	94.5	98.7	62.0	90.5	89.3

11

事業の進捗状況

(流域関連公共下水道事業) その2

平成29年度末

市 町 名		笠松町	坂祝町	川辺町	八百津町	御嵩町	全域	
整 備 状 況	面 積	全体計画 区域(ha)	683.0	439.6	689.0	460.0	935.0	16,773.4
		整備済 区域(ha)	508.3	254.9	608.7	386.9	544.0	11,716.8
		整備率(%)	74.4	58.0	88.3	84.1	58.2	69.8
事 業 費	費	全体事業費 (百万円)	16,752	3,737	9,268	7,870	13,394	272,784
		実施済事業 費(百万円)	13,736	2,874	9,067	7,869	11,235	231,740
		進捗率(%)	82.0	76.9	97.8	100.0	83.9	85.0

12

コスト縮減の取り組み

- 水処理施設の改築工事において沈殿池設備の機械（汚泥掻寄機）を省エネルギー型に変更し、工事費及び維持管理費を縮減しました。

未対策時のコスト $C_0 = 435,450$ 千円

省エネ化時のコスト $C_1 = 294,500$ 千円

【縮減額】 $C = C_0 - C_1 = 140,950$ 千円

13

対応方針（案）

- 現在、流域関連10市町の面整備及び流入汚水量の増加は進んでおり、それに合せた各務原浄化センターの整備が進んでいます。
- 関連自治体住民は下水道事業の推進を強く望んでいます。
- 費用対効果は2.5となりました。



岐阜県、関連市町とも定期的な事業計画の見直しを行いながら、平成37年度の事業完了に向け、事業を継続します。

14